

平成二十八年 成人式

報恩謝徳

〜みせましよう最高の感謝のカタチ〜



平成二十八年一月三日(日)、小諸市文化センターにおいて成人式が行われました。

多くの新成人が出席し、友人や恩師との再会を喜び合いました。

本年の成人式を運営した実行委員の中から実行委員長・副実行委員長に新成人としての決意を聞かせていただきましたのでご紹介いたします。



「人生の節目」

実行委員長 青木 俊樹



二十歳、それは人生の大きな節目だと私は思います。

私は高校を卒業後、企業に就職しました。十年前の自分を思い返すと大人になるなんて遠い先のことだと感じていました。

そんな私も去年二十歳を迎え今年が社会人三年目の年となり世間から見れば立派な大人となりました。

ここまでの道のりは決して平坦な道ばかりではなく、一人の力で大人になった訳ではありません。時には壁にぶつかり一人で悩み苦しんだこともありました。しかし、悩み

があつたからこそ心は育ち、苦しんだ日々や不幸だと思つたその日こそ、後から振り返れば一番かけがえのない日々であつたことにも気づくのだと私は思いました。

今、このように思えるのは悩み苦しみを共に乗り越えてくれた仲間、陰ながら支え応援してくれた家族、そつと手を差し伸べてくださった恩師の方々の存在があつたからです。

私に携わってくださつた全ての方に心から感謝申し上げます。

そしてこれからは、私自身がお世話になつた方へ感謝の気持ちを変えて行動していきたいと思ひます。

「成人式を迎えて」

副実行委員長 土屋 朝香



うとしています。ついこの間まで中学生や高校生だった気がし、まだ二十歳になる実感が湧きません。あの頃はもう自分は大人だと思つていましたが、今思えばまだまだ子どもだったなと思います。

しかし、中学、高校の時の悩みや感情は私を大きく成長させてくれ、今の私がいま何より私を成長させてくれたのは人との出会いです。中学、高校の先生にはとても感謝しています。先生方がいなければ今の私はいません。

そして、友達です。二十年生きてきて改めて友達の大切さに気付きました。親友と呼べる存在がたくさんいることはとても幸せなことであり、これからも長く付き合っていきたいと思ひます。

そして一番感謝したいのが家族です。父、母、祖父母、弟がいなければ成人式を迎えられなかったと思ひます。表には出しませんが、いつも私のことを考え、支えてくれました。これからは私が支えていきたいです。

最後に私は小諸が大好きです。この町に生まれてよかつたし、大好きな小諸で成人式を迎えることができ、とても

嬉しく思ひます。

今までの出会い、これからの出会いを大切にし、この先の人生を歩んでいきたいです。

「成人式を迎えて」

副実行委員長 原田かなみ



私が二十年間を過ごすことができたのは家族、友人の支えがあつたからだといふ心の底から感じています。この人たちの支えがなかったら、私は今進学もせずどのような生活を送っていたか想像することができません。二十歳となった今、支えてもらった恩を支えてくれた人たちに、これから私が関わるたくさんの人たちへ返していけたらなと思ひます。正直、自分が二十歳という実感は湧いていませんが、私は今まで自分から何かを行うことはなく、周りの目を気にして過ごしてきました。しかし二十歳になり、大人の仲間